広報 ながはま
2020. 2 Vol.169

ときめ輝びと

今月の表紙
長浜の新春を告げる風物詩「長浜盆梅展」。可憐で瑞々しい花と甘い芳香が訪れる人を楽しませてくれます。慶雲館の新館や庭園を利用した新しい展示など見どころ満載の盆梅展にぜひお越しください。（1月6日撮影）

撮影場所：高月グラウンド（高月町東柳野）

球団の顔となるような選手に

阪神タイガース
藤田（ふじた）　健斗（けんと）さん（高月町森本）

「阪神の正捕手になってみせる」と力強く語る藤田さん。昨年12月に阪神タイガースに入団し、プロの道を歩み始めました。

小学2年生の時に地元の「高月野球スポーツ少年団」に入団し、野球を始めた藤田さん。小さい頃は自分にあったポジションを見つけるため、いろいろな所を守ることが一般的ですが、藤田さんは野球を始めた時から一貫して捕手。「肩が強かったから、すぐに捕手として指名された」と当時を振り返ります。

野球を始めてからは、まさに練習の虫。「継続は力なり」という言葉を胸に、チームの厳しい練習の他、毎日少しでも時間が空けば自主トレに励みました。「野球が楽しくて、練習を苦に思ったことがない」と目を輝かせて語ります。

自分をより厳しい環境に置くため、高校は岐阜県にある中京学院大学附属中京高校に進学。進学当初は、慣れ親しんだ地元を離れての生活に対する不安、また軟式から硬式へのボールの変化などから、調子を崩したそうです。「監督やコーチ、チームメイトのアドバイスで立ちなおれた」と藤田さん。苦しい時期から抜け出した後、練習の他にもコミュニケーションを大切にし、チームメイトからの信頼を得て、1年生の秋から「4番捕手」の定位置を勝ち取り、２年生の秋には主将に任命されました。

昨夏の甲子園では、「思ったより緊張せずに、冷静に状況を見ることができた」と大舞台でチームを牽引。同校の最高成績であるベスト4、個人でも好成績を残しました。「今年の甲子園は、他の学校にもいい捕手がたくさんいた。負けたくないという気持ちが常にあり、いい成績につながった」と熱い闘志を燃やしました。

ドラフト会議の日は、チームメイトと待機。「名前が呼ばれた直後は、実感がわきませんでしたが、周りがすごく喜んでくれた。それを見て、プロになるという自覚がでてきた」と仲間とともに喜びを噛みしめました。「今までサポートしてくれた両親をはじめ全ての人に、プロの世界で頑張り、恩返しをしたい」という気持ちを原動力にしたいと語ります。

「地元出身のスポーツ選手が活躍すれば、子どもたちの希望にもなる。長浜は豊かな自然や観音文化など素晴らしい地域。大好きな地元に貢献したい」。野球と地元長浜に対する真っすぐな想いを持ち、プロ野球選手としての挑戦が始まります。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。

野上（のがみ）　結翔（ゆうと）　ちゃん（平成30年9月生まれ）（小堀町）

いつも元気いっぱいの結翔♡
結翔の笑顔にパパもママも元気を
もらってるよ☺ありがとう♡

嶋津（しまづ）　瑛太（えいた）　ちゃん（平成27年2月生まれ）（高月町高月）

SL大好きでいつも陽気なえーちゃん。
家族をいっぱい笑わせてくれてありがとう。
いつまでも弟と仲良くね。

まちの人口

令和2年　1月1日現在	人口 117,892 人	男 57,837 人	女 60,055 人	世帯数 46,308 世帯
令和元年 12月中の異動	転入 219 人	転出 278 人	出生 73 人	死亡 94 人	婚姻 34 件

令和2年2月1日発行／編集・発行　長浜市市民広報課
〒526-8501 滋賀県長浜市八幡東町632番地 TEL 0749-62-4111 FAX 0749-63-4111
https://www.city.nagahama.lg.jp e-mail:kouhou@city.nagahama.lg.jp

VEGETABLE OIL INK 植物油インキで印刷しています。再生紙を使用しています。

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としていますが、市民交流センターや図書館、まちづくりセンターなど市の公共施設やスーパーなどにも置いています。市ホームページ、スマホからもご覧いただけます。点字広報、声の広報を作成していますので、ご希望の人は市民広報課まで。